

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年 7月22日 (月)

2 確認箇所

物揚場

3 確認項目

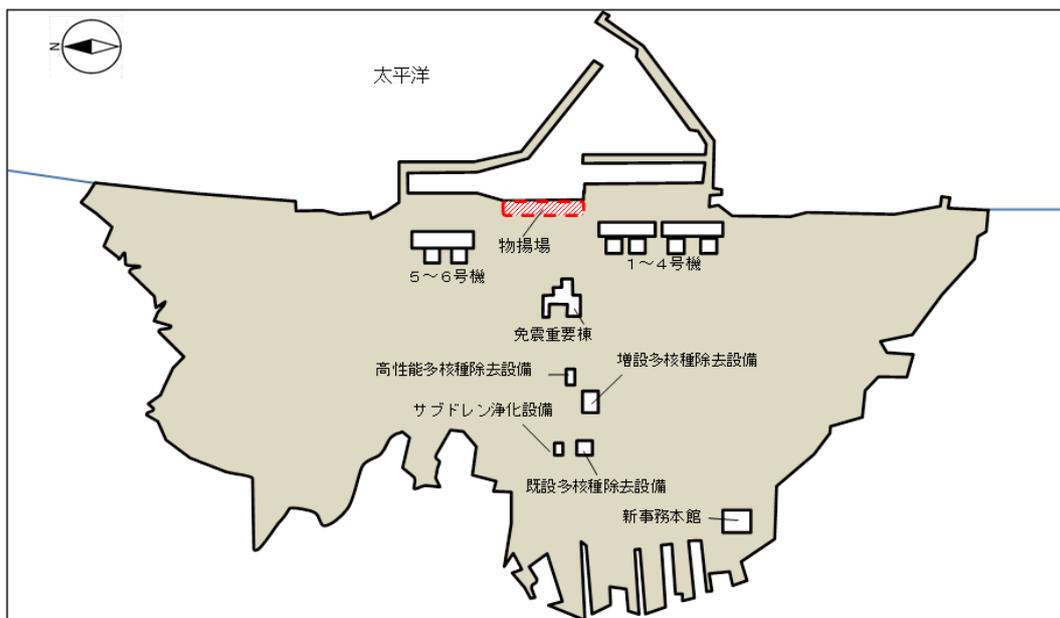
海水サンプリング業務における負傷者発生の再発防止対策の状況

4 確認結果の概要

令和元年5月17日午前7時頃、発電所構内物揚場付近(図1)において、海水サンプリングのため作業船に乗船しようとした協力企業作業員がゴム製の垂直梯子から手を滑らせ転落した。その際、船の甲板の角付近に腰を強打し海に転落した。その後、緊急搬送の必要があると判断され、病院において仙骨骨折(全治1ヶ月)と診断された。

東京電力は本事象の原因分析を行い、再発防止対策を講じたことから、現場状況を確認した。

- ・物揚場には踏棚と鋼製の垂直梯子が新たに設置されていた。(写真1)
- ・踏棚及び垂直梯子には滑り止めテープが貼り付けられていた。(写真2)
- ・垂直梯子を使わずに乗船できるように浮棧橋が設置されていた。(写真3)



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)



(写真2)



(写真3)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。